



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行 佐々木 力
編集者 及川 孝
TEL 019-622-5021
メールアドレス nrumori@poem.ocn.ne.jp

2015.2.10 第1478号

拡大キャッチコピー 「新しい仲間づくりを皆の力で」 「一緒に解消しませんか、あなたの疑問。加入ってます」

全分会が統一的に組織拡大行動を

両支部地区協・分会代表者会議で意思統一



青森支部会場で取り組みを提起する菊池忠志 本部書記長(写真上)/写真下は盛岡支部会場で



全国・東日本本部内の現状報告 本部・東日本本部書記長

1月11日、第83回定期全国大会及び「全国組織部長会議」での確認に基づき、「本部・東日本本部」が青森支部「第1回地区協・分会代表者会議」として開催された。本部からは菊池書記長、東日本本部からは佐藤書記長、伊藤教宣部長が来青し本部・東日本本部としての考え方を提起した。

佐藤書記長は「青年部、婦人部で本社独自団交を開催。会社側の人数の多さに懸念することなく、職場の実態と要求の根拠を主張してきた。結果として病院職場における労働時間管理問題の改善に結び付けることができ、大きな一歩と言える」と報告。

その後、中堤聡司副委員長から組織拡大について、「あらゆる運動を組織拡大へつなげ、各分会が創意工夫した運動を展開していく。現在の取り組みをさらに前進させるため、期間を設定し全分会が集

中して取り組むこと」と協議事項について提起し、分会からの報告を受けた。「若い人は、上司や組合役員についての不平・不満を国労組合員に打ち明けているが、拡大には結びついていない」「どの職場でも、出来る運動は一緒に国労の運動を理解して貰いたい。国労の運動が理解してもらえないままに、年が明けた総会に、突然の「衆議院解散選挙」を受け、年が明けこの日に開催された。総会が開会あいさつを述べ、工藤



野中靖志事務局長(自治労)が2014年度一般経過報告・決算報告及び特別会計を報告し、全体の拍手で承認された。続いて2015年度運動方針(案)・スローガン及び2015年度予算(案)を提起し、5人の代議員から方針を支持し補強する発言を受け、いずれの議題も全体の挙手多数により可決承認された。最後に砂金議長「2015年度選挙戦勝利・平和運動前進に向け構成組織全体で奮闘しよう」との、団結ガバロー三唱で総会を終えた。

「今年度の漢字」に選ばれたのは「税」。5%だった消費税率が8%に改定され、引き上げ直前の「消費税フィーバー」は記憶に新しい。本年10月に10%へ引き上げる消費税率を、先送りするに際し安倍首相は「国民に信を問う」と解散総選挙を強行。自民党はいくつか議席を失うが、連立与党による多数体制は延命できた。安倍首相は「国民から受けた信任」というが、今回の選挙で自民党の絶対得票率は17%程度だ。これでは有権者の5人に1人も自民党を支持していないことになる。しかし、衆議院における議席の3分の2以上という圧倒的な数の力により、集団的自衛権の法整備等「戦争をする国」へ突き進むものとして、許すわけにはいかない。今年が戦後70年の節目。多くの人が犠牲になった過去の戦争を反省しない安倍首相が、今夏「戦後」を踏まえどのような談話を出すのか注目したい(孝)

当面の主な日程
2月13日(盛岡) 第5回地方本部執行委員会
2月19日(青森) 青森県交運協2015春 開会式
2月25日(盛岡) 岩手県交運協2015春 開会式・産別間交流集会
3月6日(仙台) 国労東北協議会2015春 開会式
3月15日(盛岡) 地方電気協議会第15回定期委員会

「平和環境岩手県センター」第26回定期総会が、1月17日、盛岡市・マリオス会議室に於いて、構成組織の代議員など50人(国労5人)の参加で盛会裏に開催された。昨年12月の開催で準備された総会には、突然の「衆議院解散選挙」を受け、年が明けこの日に開催された。総会が開会あいさつを述べ、工藤

選挙闘争・平和運動の取り組みの強化を確認
「平和環境岩手県センター」第26回定期総会が、1月17日、盛岡市・マリオス会議室に於いて、構成組織の代議員など50人(国労5人)の参加で盛会裏に開催された。昨年12月の開催で準備された総会には、突然の「衆議院解散選挙」を受け、年が明けこの日に開催された。総会が開会あいさつを述べ、工藤

ていこう
寝正月で過ぎた正月休みが明け、心機一転、「仕事モード」に切り替えた矢先、流行のインフルエンザに発症。結果、正月より休んでしまうが職場での感染もストップし一安心。まだまだ油断できない季節の中で、お互い健康管理には十分気をつけたいものだ。2015年がスタートして早1ヵ月。本年も「国盛岡」の充実した発行に向け地方本部教宣部を中心に、この1年しっかりと取材活動や正確な情報伝達に努め、組合員との情報交換のため励んでいきたい。また、会議や集会によつては参加者に原稿依頼をお願いするのでご理解とご協力をお願いする。2014年(平成26年)の世相を表す「今年の漢字」に選ばれたのは「税」。5%だった消費税率が8%に改定され、引き上げ直前の「消費税フィーバー」は記憶に新しい。本年10月に10%へ引き上げる消費税率を、先送りするに際し安倍首相は「国民に信を問う」と解散総選挙を強行。自民党はいくつか議席を失うが、連立与党による多数体制は延命できた。安倍首相は「国民から受けた信任」というが、今回の選挙で自民党の絶対得票率は17%程度だ。これでは有権者の5人に1人も自民党を支持していないことになる。しかし、衆議院における議席の3分の2以上という圧倒的な数の力により、集団的自衛権の法整備等「戦争をする国」へ突き進むものとして、許すわけにはいかない。今年が戦後70年の節目。多くの人が犠牲になった過去の戦争を反省しない安倍首相が、今夏「戦後」を踏まえどのような談話を出すのか注目したい(孝)

山崎道夫氏(組織内)当選に向けて支援を

組織内候補の山崎道夫氏



矢中町議会選挙 4月21日告示・26日投票
(無所属・社会民主党推薦・66歳)が3期連続の当選を目指し立候補を予定している矢中町議会議員選挙(定数18)が4月21日(火)告示・同月26日(日)投票で施行される。山崎氏は、2007年に初

当選、矢中町政の発展はもとより、社民党岩手県連合農林水産局長として県政発展にも努力してきました。行政課題の解決、国民の声を大切に行政の実現、戦争のできる国造りにひた走る安倍政権に地方議会から反対の声を挙げ

行くためにも決意を新たにしています。山崎氏の当選にむけ同町の知人・友人の紹介など積極的な取り組みと支援を展開していく。
(略歴・主な現役職)
1967年3月生まれ、盛岡農業高校卒、国鉄入社。JRを2006年3月退職。2007年4月矢中町議に初当選2期目。議会総務常任副委員長、議会だより特別委員長、議長、社民党県連合農林水産局長・紫波総支部代表、岩手県農林団体連合会書記長。

野中靖志事務局長(自治労)が2014年度一般経過報告・決算報告及び特別会計を報告し、全体の拍手で承認された。続いて2015年度運動方針(案)・スローガン及び2015年度予算(案)を提起し、5人の代議員から方針を支持し補強する発言を受け、いずれの議題も全体の挙手多数により可決承認された。最後に砂金議長「2015年度選挙戦勝利・平和運動前進に向け構成組織全体で奮闘しよう」との、団結ガバロー三唱で総会を終えた。

# 第185回拡大中央委員会

## 組織拡大、春闘の取り組み確認

### 職場で地域で共に闘っていく

第185回拡大中央委員会  
が1月24日、東京都新橋の交通ビルにて開催され、当面する闘争方針について議論が交

わされた。地本からは沢田光広地本書記長、阿部一久支部執行委員長、菊池地本執行委員が中央委員として、佐々木

力地本委員長が地方代表者として出席をした。  
今委員会の任務は高野中央執行委員長の挨拶にあるように、①2015春闘②安全・安定輸送の確立と労働条件改善③組織強化・拡大について総団結で闘う意思統一を図ることにある。委員会の討論はそうした課題を踏まえ、全体で14人の委員から発言があつた。

盛岡地本からは、菊池委員が①組織拡大に向けた信頼される人間関係作り②来たる統一地方選挙を通じた新自由主義政治との対決③国鉄闘争解決後の組織のあり方などについて発言した。

委員会の中では会社間の体面差等が顕著になる中で一律復活等、事故の教訓が後遺として、岩元委員(九州)も「株主上場をめざし、無人駅の増加や特急列車の4両ワンマン運転等、合理化を強行」と会社の姿勢を問題にしていた。

盛岡地本からは、菊池委員が①組織拡大に向けた信頼される人間関係作り②来たる統一地方選挙を通じた新自由主義政治との対決③国鉄闘争解決後の組織のあり方などについて発言した。

各地方の取り組みに学ぶ必要があることを改めて感じてきた。  
安全問題では、倉下委員(米子)が「伯備線触車事故から10年が経過する中で片側見張りの復活等、事故の教訓が後遺として、岩元委員(九州)も「株主上場をめざし、無人駅の増加や特急列車の4両ワンマン運転等、合理化を強行」と会社の姿勢を問題にしていた。



盛岡を代表し発言の菊池要悦委員(盛岡駅連合分会)

組織強化・拡大の課題では、赤沼委員(水戸)が「59歳、51歳の加入があつたが、世話役活動を積み重ねる中で信頼を勝ち取り拡大へつながった。青年労働者に向けた私たち自身の『目線』が問われている」とし、盛岡地本としてもこの間拡大のキーワードは「仕事」にあると語った。

各地方の取り組みに学ぶ必要があることを改めて感じてきた。  
安全問題では、倉下委員(米子)が「伯備線触車事故から10年が経過する中で片側見張りの復活等、事故の教訓が後遺として、岩元委員(九州)も「株主上場をめざし、無人駅の増加や特急列車の4両ワンマン運転等、合理化を強行」と会社の姿勢を問題にしていた。

第125回拡大地方委員会  
が2月22日(日)に盛岡市のリリオ3階会議室で開催された。

第125回拡大地方委員会  
が2月22日(日)に盛岡市のリリオ3階会議室で開催された。

第125回拡大地方委員会  
が2月22日(日)に盛岡市のリリオ3階会議室で開催された。

各地方の取り組みに学ぶ必要があることを改めて感じてきた。  
安全問題では、倉下委員(米子)が「伯備線触車事故から10年が経過する中で片側見張りの復活等、事故の教訓が後遺として、岩元委員(九州)も「株主上場をめざし、無人駅の増加や特急列車の4両ワンマン運転等、合理化を強行」と会社の姿勢を問題にしていた。

2015春闘勝利  
国労東北協議会総決起集会

日時 2015年3月6日(金) 12時00分~15時30分

場所 仙台市民会館 022-262-4721 (仙台市青葉区桜ヶ丘公園)

内容 第1部 東北労働講座 [15春闘情勢と労働運動の課題] 講師 寺西弘樹氏 (まなぶ編集長)  
第2部 春闘勝利総決起集会 (千代田・同会場から仙台駅付近)

＝組合員多数の参加を＝

## 両支部で2015 団結・躍進旗開き



1月11日青森支部  
＝青森労働福祉会館＝

各地区からの決意表明も行われた写真上は八戸地区参加者/締めはやっぱり肩を組んで国鉄労働組合歌



1月12日盛岡支部  
＝リリオ・盛岡市＝



約90人の来賓・組合員が参加/昨年加入した阿部茂樹(写真右)さんも佐々木分会長とあいさつに立った



## 滝沢市公民館 県民の安全が確保されない共同訓練反対 ＝日米共同軍事訓練反対！総決起集会＝



戦争をさせない！岩手県委員会・社会民主党岩手県連合・平和環境岩手県センターの3団体が主催する、「日米共同軍事訓練反対！総決起集会」が1月24日、滝沢市公民館で開催された。1月28日から2月8日まで滝沢市の岩手山演習場で実施される共同訓練に反対する市民、労働組合ら180人が参加した。(国労からは20人が参加)

集会には180人が参加した。岩手県委員会・代表呼びかけ人の石橋乙秀(おとひで)弁護士が「この通常国会で戦争に向けた法整備が行われるが、これから先の長い闘いが続いていく。安倍首相は過去の戦争を反省していない。過去を反省しない人は必ず過ちを繰り返す」と改憲を推し進める安倍政権を批判した。

4月期加入・増口案内  
期末手当付加給付制度

〈掛金徴収〉  
・2015年4月から

〈給付発生〉  
・2015年年末手当減額分から

〈期間率調査期間〉  
・2015年4月1日~2015年9月30日

〈問い合わせ先〉 担当・村上真一まで (毎週・木曜日勤務)

TEL (JR) 033-2276  
TEL (NTT) 019-652-4841

地本互助会だより  
万が一にそなえよう  
自分と家族のために  
＝期末手当付加給付制度＝

互助会の「期末手当付加給付制度」は、病気等の欠勤で期末手当に期間率が適用となつて減額された組合員の生活保障をするための制度です。

制度発足以来13年を経過し今日まで給付件数は109件。給付金も1、089万円ほど支払いをさせて頂きました。

給付を受けられた組合員からは「付加給付制度」に加入をしていて本当に良かったと声を大にして喜ばれ、互助会として生活保障の一躍を担うことができました。

是非、この機会に、もう一度身の回りを考え、今制度に加入されますようご案内致します。

今回の募集は、2015年4月期加入となります。掛金は、2015年4月から徴収し、給付発生は、今年の年末手当減額分となります。

それ以降の加入時期は、

「互助会」及び「期末手当付加給付制度」の加入手続きは、3月15日まで分会担当者または、互助会事務局へ直接電話で加入の申込みをして下さい。

「給付金」  
期間率1日につき、1000円給付。

《互助会加入が条件》  
3月15日迄に手続きを